

エスレベル用プライマー

■エスレベル用プライマーは、弊社製セメント系セルフレベリング材『エスレベル』
専用に開発された、アクリル系ラテックスです。

●特徴

- (1) 優れた気泡抑制効果により、仕上げ面精度が向上します。
- (2) 下地との接着力を増強し、亀裂防止に役立ちます。
- (3) 耐アルカリ性に優れており、長年にわたって安定した接着力を持続します。

●性状

成分 / アクリル系ラテックス	最低成膜温度 / 0℃
外観 / 乳白色	機械的安定性 / 優
PH / 8.5	貯蔵安定性 / 優
比重 / 1.02	凍結融解安定性 / 優
粘度 / 200cps	有害性 / 無

●荷姿

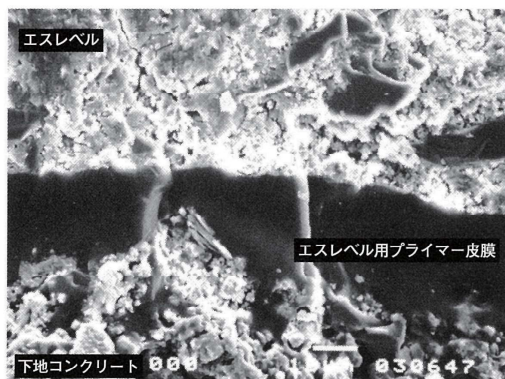
- ・ 18kg 角缶
- ・ 18kg 丸缶

●性能

<試験条件> コンクリート平板上にエスレベル用プライマー 2 度塗り (1 回目 8 ~ 10 倍液・2 回目 6 ~ 8 倍液)、翌日エスレベルを 10mm 厚で施工

項目	試験結果	備考
付着力	1.5N/mm ² 以上(コンクリート破断)	エスレベル材齢 14 日
温冷繰り返し	0 サイクル異常なし	エスレベル材齢 14 日
	10 サイクル異常なし	-20℃・6 時間~ 60℃・6 時間で 1 サイクル

●エスレベル用プライマー塗布の際の接着界面構造



(電子顕微鏡写真)

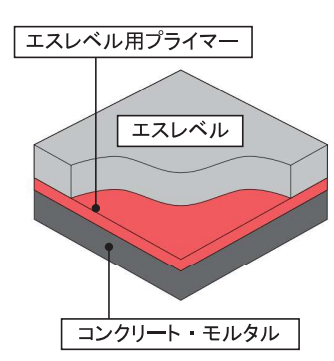
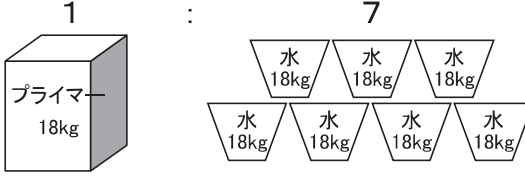
- (1) 下地の吸水を抑制し、気泡の発生を防止するとともに、エスレベルの硬化不良を防ぐ。
- (2) 下地表面の脆弱部に浸透し、乾燥固化する。
- (3) セメント水和物と機械的に結合する。

以上の様に、エスレベル用プライマーは、十分に乾燥し被膜を形成させることで、優れた性能を発揮します。

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0305154
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

エスレベル用プライマーの使い方

●2回塗りを基準とします。 : 1回目=8倍希釈液~10倍希釈液 : 2回目=6倍希釈液~8倍希釈液

	<p>1回目 : 8~10倍液 2回目 : 6~8倍液</p>	<p>使用量目安</p>
	<p>例 : 8倍液の場合の希釈方法</p> <p>1 : 7</p> 	<p>約 150 ~ 250m²/ 缶</p>

●特徴

- ① プライマーは、エスレベル専用プライマーをご使用下さい。他のプライマーを使用する場合は、弊社に必ずご相談下さい。万が一ご相談なく他プライマーを使用された場合には品質保証は出来かねます。
 - ② プライマーは2度塗りを標準とし、1回目および2回目の希釈倍率は下地の種類により異なり、上図の希釈倍率を参照して下さい。
 - ③ プライマーは必ずエスレベル施工の前日に塗布して下さい。施工直前の塗布は剥離の原因となります。
 - ④ プライマーは十分に攪拌して下さい。不十分の場合は濃度ムラが生じ、剥離および気泡の原因となります。
 - ⑤ 1回目は、自在箒または左官刷毛で下地にたっぷりしみ込ませるように、多めにまんべんなく塗り広げて下さい。
- ※ スプレー塗布やローラー、ゴムベラによる塗布では下地からの気泡発生や接着強度の不足によるクラック、剥離の危険性が高くなりますのでお止め下さい。

- ⑥ 1回目塗布後は、乾燥させてから2回目を塗布します。
- ⑦ 2回目は下地のへこみに溜まりが残らない様に、自在箒等で薄く延ばす様に塗って下さい。溜まりがあるとその部分のプライマー層が厚くなって剥離の原因となり、また余剰プライマーがSL材のレイタンスの原因となります。溜まりのプライマーは布等で吸い取って下さい。
- ⑧ 壁際のプライマー塗布で、石膏ボード・木枠等、水分の吸い込みのおそれがある場合には、あらかじめSL打設の高さまでプライマーを塗布しておき、後でSL材の水分を吸い込まないようにして下さい。

●下地処理

- ① 下地の掃除は、掃除機等を使って十分にホコリやゴミを除去して下さい。
- ② 下地のレイタンス・油などの付着阻害物を完全に除去して下さい。除去が不完全な場合、プライマーを塗布しても所定の接着強度が得られず、クラック、剥離の原因になりますのでご注意ください。
- ③ 下地コンクリートの弱いところおよび突起物は取り除いて下さい。
- ④ 壁の立ち上がり部や電気配線孔等の隙間は、モルタルやコーキング材で塞いで下さい。僅かな隙間でもエスレベルは流出しますのでご注意ください。

●注意事項

- ① 刷毛、バケツ等の器具は使用后すぐ水洗いして下さい。
- ② アルミサッシ等に付着すると取れにくいので十分に養生して下さい。
- ③ 使用後に残ったエスレベル用プライマーは密閉して保管し、早めにお使い下さい。
- ④ 凍結させないよう、直射日光に当てないように保管して下さい。
- ⑤ 改修工事で下地に旧接着剤が残存している場合は弊社にご相談下さい。

●取扱いおよび保管上の注意

- (1) 取扱い: 目、皮膚等への接触を避けるため適切な保護具(手袋、長靴、保護メガネ等)を着用して下さい。長時間付着した状況では皮膚に炎症を起こす可能性があります。

応急処置:

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに、汚染された衣類を全て脱ぎ、皮膚を多量の水と石鹸で洗浄すること。皮膚刺激または発疹が生じた場合は医師の診断/手当てを受けること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、気分が悪い場合、医師の処置を受けること。

- (2) 漏出時の処置: 床面等に付着したものは水で洗浄し、濃厚な洗浄水は中和、希釈処理等により、河川等に直接流出しないよう対策をとって下さい。大規模な漏出の回収作業には、手袋、長靴、保護メガネ等の保護具を着用して下さい。
- (3) 廃棄上の注意: 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づいて廃棄して下さい。洗浄水などの排水は、水質汚濁防止等の関連諸法令に適合するように十分留意して下さい。

(2017年9月1日改定)

日鉄住金高炉セメント株式会社

東京グループ 〒104-0033 中央区新川1丁目16番14号(アクロス新川ビルアネックス1F) ☎03-3523-0947~8
 名古屋グループ 〒450-0002 名古屋市中村区名駅4丁目26-13(ちとせビル8F) ☎052-485-5748
 大阪グループ 〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2丁目3番3号(桜橋西ビル9F) ☎06-6342-5880
 九州グループ 〒812-0025 福岡市博多区店屋町5番18号(博多NSビル2F) ☎092-283-0311
 本社SL事業部 〒803-0801 北九州市小倉北区西港町16番地 ☎093-563-5118